



交野おりひめ大学通信

令和7年6月号

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で!

6月の行事 田植え



交野おりひめ大学を支える「マネージャーチーム」とは?

今回は、日頃から大学運営を力強く支えてくれている「マネージャーチーム」に焦点を当てて、彼らの活動について詳しくお話したいと思います。

このマネージャーチームは、私たちの大学がより円滑に、そして着実に活動していくために不可欠な存在です。毎月開催される「運営協議会」では、大学全体の活動方針や進むべき方向性をじっくりと検討していますが、その根幹を支えているのが、このマネージャーチームの皆さんなのです。

マネージャーチームが誕生したのは、2023年度の事です。

当時、大学の法人業務をさらに良いものにするという、とても大きな目標を掲げて発足しました。実は、チームが動き始めたばかりの頃は、会計業務がよつやく安定してきたところで、昨年度の社員総会で提案された「名簿の整備」「学生証の発行」「会費の支払い記録の一元化」といった、大学の基盤となる「仕組みづくり」にまで、なかなか手が回らない状況でした。

しかし、2024年度には、担当理事、チーフマネージャー、会計担当、そしてホームページ編集長を兼任するマネージャーを含む新たなメンバーを選出し、体制を大きく立て直しました。担当理事の持つ豊富な知識と経験をチーム全体で共有し、将来的にはチーム自身が自律的に活動できるように、あえて個別の担当を決めず、全員で協力しながら活動を進めていきます。

この時期に、特に重要な変化がありました。それまで不定期だったマネージャー会議を、「毎月のご定例会議」としてきちんと位置

- そば学科 ● おさけ学科 ● デザイン学科
 - クラフトビール部 ● 交野伝説学科
 - カフェ部 ● 酒づくりの会 ● かのたのキャンヴァス
 - KATANOホイスコーレ準備室
- 目指せ。交野でティラノサウルスレース学科

づけたのです。最初は運営協議会の前日の火曜日に設定していましたが、昨からは運営協議会の前日に、シビック・ブルワーズの2階で集まるのが恒例となりました。毎回、2時間を優に超えるほどの熱のこもった議論が交わされ、実に多岐にわたる議題が話し合われました。財務や会計、法務に関する事項はもちろんのこと、大学の運営基盤を強化するための情報整備、学生の皆さんのための仕組みづくりや改善、新しい事業やイベントの企画とその関連業務、さらには外部との連携や企画の検討など、本当に幅広い項目について、深く議論が重ねられ、大学の法人業務の改善に大きく貢献していると、強く実感しています。

昨年度には、さらに2名の新しいメンバーが加わり、総勢8名という大所帯になりました!

マネージャーチームは、あくまでも大学の法人業務をより良くしていくための「整理役」を担う部隊です。大切なのは、「仕事」として特定の誰かに業務を押し付けるのではなく、学生の皆さん全員で業務を分担していくことこそが理想だと考えています。マネージャーチームが、全ての業務を代行するわけではありません。ぜひ、学生の皆さんもこの考え方を「理解いただき、積極的に業務分担にご協力、ご参加いただけると嬉しいです。

昨年度の大きな成果として、やはりマネージャーチーム会議が定例化したことで、運営協議会の議題を事前に前裁きできるようになったことが挙げられます。これにより、直前になって慌ただしく準備するようなことが格段に減りました。これは、本当に大きな進歩だと感じています。

とはいえ、まだ課題も残っています。総勢8名のチームになったとはいえ、各メンバーが明確な

担当分野を持つているわけではなく、「できる範囲で」という形で動いているのが実情で、「特定の一人に業務の負担が集中しない仕組み」までは、残念ながらまだ到達できていないのが現状です。

「この1年間の活動を通じて、マネージャーの皆さん一人ひとりが年間を通じてどのような活動ができるかが、少しずつ見えってきていると感じています。

もちろん、「仕事」として「これをやりなさい」と指示するような関係性ではありません。今後の方向性として、少しずつ「これから自分にもできそうだな」と感じてもらう、自発的に担当に手を挙げてもらえるような形で、じっくりとチームとしての力を高めていければと考えています。

これからも、交野おりひめ大学をより良い大学にしていきたいために、マネージャーチームは一生懸命活動を続けていきますので、学生の皆さんも温かい応援をよろしく願います!

また、もし「私もマネージャーチームの活動に参加してみたい!」という方がいらっしゃいましたら、いつでも大歓迎です。一緒に大学を盛り上げていきましょう!



時には、お酒も飲みながら楽しい会議も♪